

からこんにちは！

西ノ島小学校

小学校一日入学

小学校では、新1年生が入学後の学校生活をスムーズにスタートできるように2回の交流と一日入学を行っています。

2月10日(水)に、交流としては3回目となる一日入学を行いました。1年生は「年長さんが、楽しい一日入学だったなと思ってもらえる会にすること」をめあてに、全員が役割を分担し準備を進めてきました。本番では、司会進行から勉強の紹介、学校探検やプレゼント渡しまで自分たちで進めることができました。保育園児も一緒に勉強したりマラソンに張り切って参加したりと時間いっぱい楽しみ、1年生になる期待を一層膨らませたようでした。

(文責 吉田)

【児童の感想】

1年 志田 亘

ぼくは、小学校でならうかん字のべんきょうをしようかいました。はるとくとんとえんじと、みんなでかきました。きんちようしたけど、たのしかったです。



▲楽しくすごろく



▲みんなでマラソン

3年文化学習

3年生は総合的な学習で西ノ島町の文化や伝統について学んでいます。今年は「隠岐島前神楽」を中心

として西ノ島の伝統を体験的に学ぶことを重視しています。
2月24日(水)に、発表会を行い3年生の児童みんなが「先祓い」を披露しました。この学習を通して「自分は隠岐の西ノ島町で育ってきたんだ」と自信をもって言える子どもたちになってほしいと思います。学習にあたって保存会の松新さんに長期にわたってお世話になりました。ありがとうございます。

(文責 米原)

【児童の感想】

3年 西脇 帆海

本番ではきんちようして、しめだいがいつもより速くなっていました。あせつたんじゃないかなと思います。週に2回か3回の練習なのにこんなに上手になれてうれしいです。



▲練習の成果を披露

西ノ島小学校 西ノ島中学校



西ノ島中学校

中学校一日入学

2月4日(木)、新入生一日入学がありました。中学校生活の様子を知り、入学への準備や心構えを持ってもらおうと企画しました。今年は、生徒会事務局が中学校での行事や生活などについてパワーポイントや資料を用いて具体的に説明しました。その後、中学1年生から中学校生活についてのアドバイスを行いました。小学6年生は、中学校生活について積極的に質問してくれました。中学校の授業を参観・体験したり、部活動を体験したりした6年生は、中学生と関わることで、4月の入学へ胸を膨らませた様子でした。

(文責 山根)



▲中学校生活についてパワーポイントで説明

【生徒・児童の感想】

中学2年 伊藤 遥斗

僕たち生徒会事務局は、一日入学に向けて約2週間前から準備をしてきました。中学校でのルールや中学校で頑張ってもらいたいこと、それに合わせて行事説明を行いました。一日入学を通して、少しでも中学校のことを知ってもらい、楽しそうだと思います。もうまから1年生が入学してくるのを楽しみにしています。

小学6年 木下 祐

中学校になったら、中間テストや期末テストがあるので、更に自学などをがんばらないといけないと思いました。授業体験で、英語の勉強を試してみたら、すごく楽しくできました。中学校に行っても楽しく勉強ができそうで安心しました。部活は、どちらも体験してみても、大変そうでした。これからも頑張っていきたいと思います。

小中一貫教育

本格スタートに向けて

令和3年度より西ノ島小学校と西ノ島中学校は、小中一貫教育を本格的にスタートさせます。基本コンセプトは、「和醸良酒：小中すべての

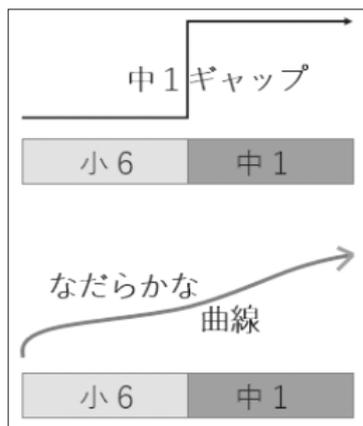
教職員で小中すべての子どもたちを見て語り育てる」です。小学校・中学校の壁を取っ払い、小中教職員が一つになり、義務教育9年間を通して子どもたちを大きく成長させます。

小中一貫教育のメリットはたくさんありますが、その中の一つが「中1ギャップ」の解消です。小学校から中学校に上がる時のギャップは大きく、子どもたちは様々なストレスを抱えます。教科担任制に変わると、学習内容が増え勉強が難しくなること、部活動が始まり人間関係が変わること、思春期を迎え心が揺れ動くこと、など。全国的に見ても、そのストレスのため、いじめ、不登校、学力低下、荒れ、など多くの問題が噴出するのが「中1ギャップ」です。

西ノ島の小中一貫教育では、このギャップをなだらかな曲線に変えることが可能です。小中の教職員が一つの職員室で情報共有し一貫した指導(一貫性)を行うことができます。

小学生の頃から中学校教員が関わったり、中学生になっても小学校教員に支援を受けたりすることで切れ目のない連続した教育(連続性)も可能です。小学校の授業を専門性を持った中学校教員が行ったり中学校の授業に小学校教員がT2としてサポートに入ったりする「乗り入れ授

業」を行うことで系統立てた学習指導(系統性)もできます。



また、小学生は、中学生の姿を身近に見て良き手本とすることができ、逆にも中学生は、小学生に手本を示したりやさしく教えたりすることで自己存在感、自己肯定感を高め、豊かな心を育むことができます。

現在、入学式の合同開催など小中一貫教育の良さを生かした学校行事の在り方や「乗り入れ授業」など効果的な指導体制などを検討中です。今年度までの小中連携の取組により、上記のような理想の小中一貫教育が可能な下地はできています。あとは、小中一貫教育という新しいことに挑戦する教職員の不安感を取り除き、どう熱意を高揚させるかです。保護者の皆様、地域の皆様のご理解をいただき、教職員の後押しをしていただけると喜びます。

(文責 中学校長)